



「地域おこし協力隊」とは、都市地域に住む人材を受け入れ、定住をはかるとともに、その人材のアイデアや活動を通じ地域の活性化を促進する制度です。

★Facebookで活動情報を随時発信しています

<https://www.facebook.com/ishiokoshi/>



発行 者：石岡市地域おこし協力隊  
発行年月：令和2年3月  
問い合わせ先：石岡市市長公室政策企画課  
電話 0299(23)7277 直通  
メール kikaku@city.ishioka.lg.jp



石岡市地域おこし協力隊 第1期隊員

## 3年間の活動記録



## もくじ

隊員プロフィール & 3年間活動一覧	・・・	1
メインプロジェクト紹介 カンバンケンチクプロジェクト	・・・	9
シェア工房 BONCHI	・・・	11
きこりの森から	・・・	13
茅葺きプロジェクト	・・・	15
その他の活動紹介	・・・	17

### はじめに

今回編集を担当させていただくこととなり、自分なりにこれまでの活動を振り返る良い機会となりました。

本年卒業する隊員全員が、アートサイト八郷をきっかけに「ここで自分のやりたいことを見つけたい！」と移住しました。その時からのことを思うと、みなそれぞれやってきたことが少しずつ繋がりはじめ、関心を深めたり、視野を広げることができたのかなと思います。

よそから時々来るのではなく、実際に暮らし、風土を肌で感じながらのびのびと活動させていただいたことは、今後大きな財産となると感じております。

これまで私たちに関わっていただいた方々に、改めて感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願い申し上げます。



**田中 楓** 中心市街地担当  
たなか かえで

○出身 / 生年月日  
東京都 1993/10/11

○石岡市の好きなおとこ  
人、風景、実家から日帰りで行き来できるおとこ

○今後の予定  
石岡にて引き続き暮らしていく予定  
です。  
シェア工房 BONCHI の運営、アート  
サイト八郷の運営、ワークショップ  
などをこれからやっていきたいと思  
います。

○抱負  
3年間の石岡市地域おこし協力隊も  
2020年の3月で終了です。  
自分なりに「地域おこし」「中心市街  
地活性化」を考えて活動してきました。  
至らないところも多くあったと思  
いますが、今後も石岡の地にて自  
分のやれること、やりたいことをし  
ていきたいと思っておりますので、引き続  
きよろしくお願ひいたします！

私が3年間取り組んだこと ※「」内はプロジェクト名

2017年度

・「カンバンケンチュクプロジェクト」  
「マイカンバンケンチュクトートバッグを  
つくりワークショップ」のワーク  
ショップを企画実施。  
メイン担当として2019年度まで関連  
活動実施。

※活動詳細は9ページ参照

・石岡カフェ関連活動

石岡駅前の石岡カフェにて以下の活動  
を実施。

情報発信 / メニュー表作成 / 内装ワー  
クショップ / 上映会などのイベント

・石岡の昔話紙芝居制作

市民団体の依頼で紙芝居を制作。

※詳細は17ページ参照

2018年度

・「カンバンケンチュクプロジェクト」  
ワークショップ実施、グッズ試作

・石岡カフェ関連活動

コースター作りワークショップ実施 /  
物々交換スペース、物販スペース作り

・「シェア工房 BONCHI」

起業セミナーへの参加

※活動詳細は11ページ参照

・「きこりの森から」

森での活動参加

※活動詳細は13ページ参照

・「アートサイト八郷 2018 夏」

運営、展示作品制作

※活動詳細は19ページ参照

・茨城県地域おこし協力隊ミーティ  
ング「協力隊起業向け実践研修」

参加およびプレゼンテーション

2019年度

・「カンバンケンチュクプロジェクト」  
グッズ制作 / イベント出展 / 小学校の  
授業内で活動紹介 / 大学の講義内で活  
動紹介

・「きこりの森から」

森での活動参加

・「茅葺きプロジェクト」

田んぼでの活動参加

※活動詳細は15ページ参照

・「アートサイト八郷 2020 冬」

運営、展示作品制作



壁塗りワークショップ



物々交換スペース



コースターワークショップ



**井上 岳** 観光交流担当  
いのうえ たく

○出身 / 生年月日  
愛知県 1991/3/19

○石岡市の好きなおとこ  
丁度いいところ。面白い人がたくさんいるところ

○今後の予定  
シェア工房を拠点とした仕事を少しずつ増やしていく予定です。同時にシェア工房を設備、内容共に充実させていきます。シェア工房にて受けられる仕事（あずま屋制作、内装デザイン施工、カッコいい木材の生産等）も大募集中です。

○抱負  
ここに根を下ろし、シェア工房 BONCHI を拠点として、山と建築がひとつながりになるような仕事を作っていきたいです。石岡なりの生業のあり方を自分なりに重ねて見つけていこうと考えています。また、木崎家とその周りの物事に積極的に関わり、自分の生業の一部にしていきたいです。

私が3年間取り組んだこと ※「」内はプロジェクト名

2017年度

・「3rdPlace ウリボー」  
朝日里山学校の空き教室をコミュニティスペース「3rdPlace ウリボー」として改装し、以下を実施。  
朝日里山学校およびウリボーの情報発信 / 体験イベント「ウリボー食堂」の実施 / 工作ワークショップ

2018年度

・「3rdPlace ウリボー」  
運営 / 工作ワークショップ開催

・「石岡エキチカ喫茶店」  
小冊子制作

・「シェア工房 BONCHI」  
起業セミナーへの参加のほか、メイン担当として企画立ち上げを主導

・「きこりの森から」  
森での活動参加

・「アートサイト八郷 2018 夏」  
運営、展示作品制作

2019年度

・「Made from at ishioka」  
「きこりの森から」で森から出したヒノキの商品開発 / スツールづくりワークショップの開催  
※活動詳細は11ページ参照

・「きこりの森から」  
森での活動参加

・「茅葺きプロジェクト」  
田んぼでの活動参加

・「アートサイト八郷 2020 冬」  
運営、展示作品制作



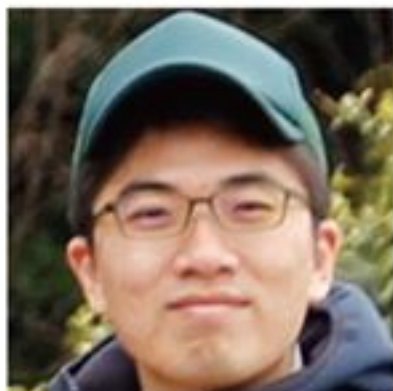
3rdPlace ウリボー



石岡エキチカ喫茶店



BONCHI オープニングパーティー



**大重 雄暉** 農林業担当  
おおしげ ゆうき

○出身 / 生年月日  
愛知県 1991/8/20

○石岡市の好きなおところ  
街も里もあり、それぞれの場所にそれぞれの風土が感じられて面白いです。

○今後の予定  
シェア工房 BONCHI を拠点として、協力隊でおこなってきた活動を継続して取り組んでいきたいと考えています。特に、きこりの森での活動を注力したいです。きこりの森から採れる素材を BONCHI で加工して、ごく小さな規模ですが流通させてみたいと考えています。

○抱負  
はじめはスギとヒノキの違いがわからないほど山のことには疎く、インドア派だった（今でも）私ですが、活動を通して山に関わる様々な人々と出会い、そこも含めて「山って奥深い…ずっとやりたい」と思うようになりました。その気持ちを素直に表せる活動をやっていききたいと思います。

**私が3年間取り組んだこと** ※「」内はプロジェクト名

**2017 年度**

- ・炭焼き小屋支援活動  
市内に現存する炭焼き小屋の現況調査および、以下の作業支援  
炭焼き作業 / 情報発信 / 販売支援
- ・つくばね森林組合作業支援
- ・県南農林事務所主催、林業関係者の集まる『やさとの森から』会議参加

**2018 年度**

- ・「きこりの森から」  
メイン担当として以下の活動を実施。  
サイクルラック作り事業との連携企画 / 森の場作り企画 / イベント企画
- ・地元材活用サイクルラック作り  
『石岡市りんりんタウン構想』の一部として、障害者就労支援施設 SB ワークス石岡と協働し、「きこりの森から」プロジェクトで採れた材を用いて製作。
- ・「シェア工房 BONCHI」  
起業セミナーへの参加
- ・「アートサイト八郷 2018 夏」  
運営、展示作品制作

**2019 年度**

- ・「きこりの森から」  
メイン担当として以下の活動を実施。  
方針提案 / 「Made from at ishioka」と連携企画
- ・「茅葺きプロジェクト」  
田んぼでの活動参加
- ・「アートサイト八郷 2020 冬」  
運営、展示作品制作



炭焼き作業支援



イベントでの木炭販売支援



森林組合での測量作業支援



**瀧田 暁月** 移住定住担当  
たきた あき

○出身 / 生年月日  
福島県 1989/9/11

○石岡市の好きなおとこ  
森と住まい、田畑と働く人など、自然と暮らしが混じり合う風景

○今後の予定

常陸風土記の丘に所属し、茅葺き修繕事業に携わります。茅の栽培の継続に加え、屋根の保全、活用に様々な面から取り組みます。茅の栽培では2019年度の実験で増殖させられる手応えを得たため、実際に屋根に使える量まで年月をかけて増やしていく計画です。

○抱負

石岡市との縁は8年目になりますが、地域おこし協力隊の3年間では、自分が地域で担っていくべき役割を探り、ようやく茅葺きの分野にその端緒を掴んだところです。いずれその役割を全うできるように、様々な厳しい課題にも楽しんで取り組んで参ります。

私が3年間取り組んだこと ※「」内はプロジェクト名

2017年度

・移住体験ツアー

トークショーや町歩きなどのツアーを企画、実施

・母校である武蔵野美術大学での活動を以下の授業やレクチャーにて報告  
インターンシップ演習 / ワークショップ  
発表会 2017

2018年度

・「アートサイト八郷 2018 夏」

屋外展示および屋内展示の企画運営

・「木崎邸実測学校」

総勢25名の1泊2日の合宿を企画、実施 ※活動詳細は20ページ参照

・「シェア工房 BONCHI」

起業セミナーへの参加

2019年度

・「アートサイト八郷 2020 冬」

運営、展示作品制作

・アートサイト八郷活動記録冊子

開催記録および活動記録をまとめた冊子の企画編集

・「茅葺きプロジェクト」

メイン担当としてシマガヤの栽培を実施。他、以下を実施。  
株分け栽培の実験 / 播種栽培の実験 / 生態の調査



移住体験ツアー



木崎邸実測学校



シマガヤの栽培



自分のまちに愛着をもつ

中心市街地分野 メインプロジェクト  
石岡カンバンケンチク



メイン担当  
田中 楓

## 石岡カンバンケンチク

### 目的

石岡にある特徴的な看板建築や商店などをモチーフに、ワークショップやお土産づくりを行い石岡の街並みをPRします。市内だけでなくより多くの方々に石岡の街並みへ愛着を持ってもらうことを目指しました。

### 実施内容

【マイカンバンケンチクトートバッグをつくろう】  
石岡サマーフェスタ 2017 出展時にワークショップを企画しました。石岡の特徴的な看板建築や商店などをモチーフに図案化し、スタンプ化したものを使って子供でもできるオリジナルのトートバッグを作るワークショップをイベントで開催しました。

### 【石岡カンバンケンチク】

石岡のまちのイメージを分かりやすく伝えるお土産を制作しました。ワークショップで制作したスタンプを使用し、石岡のおまつりにて販売しました。  
制作したお土産：マスキングテープ2種、バッグ1種  
出展イベント：まちかど情報センターハンドメイド展 (GW)、石岡のおまつり2019、つくば霞ヶ浦りんりんサイクリング、まちかど情報センターハンドメイド展  
販売委託先：まちかど情報センター、まち蔵藍、観光案内所、まちのベンチ

### 協力いただいた方々 (敬称略)

白澤 奈生子 / 看板建築店主の方々 / 中町商店会 / 株式会社まち未来いしおか



石岡サマーフェスタ出展



ワークショップ作品例



マスキングテープ、カバン



石岡のおまつり出展



資源と人が交差する場所を作る

## 観光交流分野 メインプロジェクト シェア工房BONCHI



メイン担当  
井上 岳



## シェア工房BONCHI I

### 目的

「ものづくり」をキーワードに、森のもの、人、情報など市内のあらゆる楽しいもの（以下資源と呼ぶ）が集まる場所を立ち上げました。まず自分たちでそうした資源を集めるところからはじまり、一つ一つの価値を伝えることを目指します。

### 実施内容

#### 【BONCHI びらき】

シェア工房 BONCHI 立ち上げに先立ち、工房のオープンデーをもうけました。どのような人たちが何を求めて BONCHI に来てくれるのか、場所の方向性を具体的な利用者とのかかわりの中で確認、更新していきました。

#### 【Made from at Ishioka】

シェア工房 BONCHI から車で5分の「きこりの森」に関わっていく中で BONCHI にやってきたヒノキを使って「スツール」、「ランプシェード」、「森の鉛筆」などを制作しました。きこりの森で木を倒し、その木でものをつくる片方で、森もまた良いほうへ変わっていきました。

#### 【ワークショップの開発】

八郷の森の木を使ったワークショップとして、椅子づくり、コースターづくり、シルクスクリーンワークショップを開発しました。

#### 協力いただいた方々（敬称略）

藤岡和雄 / 来訪された方々 / 株式会社上林製材所



イベントスペース芝張り



オープンデーの工房案内



作成したスツールキット  
とシルクスクリーンワーク  
ショップ





資源として、場としての山を作る

農林業分野 メインプロジェクト  
きこりの森から



メイン担当  
大重 雄暉

## きこりの森から

### 目的

八郷地区には手入れされていない山がたくさんあります。そういう山を丁寧に手入れすることで、山にあるものや、山の空間そのものが輝いて見えてくるのではないかと思います。瓦谷にある、こんこんギャラリーそばの「きこりの森」を実施地とし、木材活用やイベントも行いながら、山作りを実践します。

### 実施内容

2018年度

・地元材活用サイクルラック作り & 山作り  
間伐を行い、その材でロードバイク用のサイクルラックを市内施設と協働で製作しました（5pにも記載あり）。間伐と合わせて掃除や集まれる場所作りなどを行い、枯れ木などで暗く荒れていた山が、日が差す場所となりました。

・木くぼり & 皮むきイベント

森林資源の需要調査として、来場者に丸太の皮をむいて、好きな長さに持ち帰っていただくイベントを実施しました。

実施日：2019年3月30、31日

対象：フェイスブックで繋がっている方中心

来場者数：26名

2019年度

森の遊歩道作りと、「地産地消の庭作り」として、山を庭のように見立てて作る試みを行いました。地面を丁寧に刈り払い、雑木を庭木に見立てて枝を剪定したり、上林製材所より所有の山から庭木の苗を譲っていただき、植えるなどの作業を行いました。

協力いただいた方々（敬称略）

こんこんギャラリー / つくばね森林組合 / SB ワークス石岡 / 株式会社上林製材所



サイクルラック



木くぼり & 皮むきイベント



集まれる場所作り



山を庭に見立て作る



道際に苗木を植える



植え付け後、地中で新しく伸長したシマガヤの根（地下茎）。根の伸長を認めたことにより、シマガヤ増殖の成功可能性を見込めた瞬間であった。

茅葺き屋根の保全をめざし、茅を栽培

移住定住分野 メインプロジェクト  
**茅葺きプロジェクト**



メイン担当  
瀧田 暁月

## 茅葺きプロジェクト

### 目的

石岡市の魅力的な住文化のひとつである、茅葺き屋根の保全と活用を目指します。

茅葺き屋根が減りつつある背景には、修繕の負担の大きさがあります。そこで、茅の購入費用と職人の手間とを減らすことのできる材料「シマガヤ」に注目し、これを安定的に供給するため、市内太田地区内の休耕田にて植え付け栽培の実験を行いました。

### 実施内容

#### 茅栽培

・2019年4月、シマガヤの株分け栽培を実施 霞ヶ浦湖畔のシマガヤの管理地より株を分けて頂き、8畝程度の休耕田に植え付け、その冬に収穫作業を行いました。

・種集め、種からの播種栽培を実施 栽培したシマガヤから種を採取し、播種を行いました。

#### 茅刈り、茅葺き関連作業

栽培と並行して下記のイベントに参加し、茅に用いる植物の種類や特徴、日本各地に残る茅葺き民家と生活文化を学び、栽培や茅葺き民家の活用につなげる知見を得ました。

#### ・茅刈り

上青柳地区の茅場 / 近隣地域各地

#### ・ワークショップ

筑波大学主催こまるきワークショップ / 茅葺きワークショップ

#### ・セミナーへの参加、視察

国際茅葺きフォーラム 2019 / 古民家活用セミナー

#### 協力いただいた方々（敬称略）

浅野 OO / 岩渕正伊 / 江戸達郎 / 友部巻夫 / 鳥山和伸 / 藤岡和雄 / 藤岡行雄 / 渡邊大



掘り出した株



植え付けと水入れ



最もよく成長した株



茅の刈り取り

## その他の活動紹介①

### 紙芝居制作

#### 実施内容

市民団体の府中塾では、ふるさと学習の推進や地域振興活動として、地域への郷土愛醸成石岡市内に伝わる数々の民話の紙芝居を作成されています。その内の2作を地域おこし協力隊へ依頼いただき、作成しました。

作品名：鈴ヶ池片目の魚

制作：瀧田暁月、田中楓

作品名：残念坂

制作：井上岳、大重雄暉



実施期間 2017年6月～2017年8月

実施地 石岡市役所

関わった人たち（敬称略）

府中塾の方々

### 石岡市立北小学校授業 協力隊の活動紹介

#### 実施内容

6年生対象の国語授業「町の幸福論」にお招きされ、地域での活動として、「カンバンケンチクプロジェクト」「茅葺きプロジェクト」についてお話をしました。授業後は児童と一緒に給食を食べ、昼休み時には「マイカンバンケンチクトートバッグをつくろう！」ワークショップを開催しました。6年生だけでなく、他学年の児童も参加しました。



実施期間 2019年11月27日

実施地 石岡市立北小学校

関わった人たち（敬称略）

北小学校の児童と先生方

## 茨城県地域おこし協力隊ミーティング

#### 実施内容

茨城県が、県内の地域おこし協力隊を対象に開催する研修会に参加しました。

【協力隊起業向け実践研修「Try hard to Startup」】

2018年10月2日、10月17～18日

Startup Weekend つくばでファシリテーターを務める岩城氏を講師に迎え、県内の協力隊員がチームごとに課題整理、ヒアリング、検証を2日間で行い、事業プランを作りました。

【クラウドファンディング公開プレスト会議】

2018年12月8日

Readyfor 茨城キャラバン第二弾として、茨城県庁展望台フロアにて、石岡市地域おこし協力隊のプロジェクトを対象としたクラウドファンディング作り込みの裏側をみせる、プレスト会議を実施しました。起業家向け研修でも検討したアイデア「メイカーズスタジオ」（シェア工房BONCHI原案名）をプレゼンし、来場者の方々から意見やアドバイスをいただきました。

【地域おこし協力隊座談会】2019年12月2日

県内の協力隊OBOGを交え、現役隊員が活動や任期後のことなどをざっくばらんに話せる場として始まった座談会へ参加しました。任期後の生活や起業について相談しました。

関わった人たち（敬称略）

県内の地域おこし協力隊 / 茨城移住計画 / 茨城県政策企画部計画推進課



「Try hard to Startup」



公開プレスト会議



地域おこし協力隊座談会

## その他の活動紹介② アートサイト八郷



アートサイト八郷は、武蔵野美術大学有志団体「けんちく探検隊」が地元の方の協力を得て旧八郷地区上青柳に滞在し、作品を展示するアートイベントです。

丘の上、棚田、茅葺き屋根の家といった環境を会場としてお借りし、学生は約1ヶ月間泊まり込みで開催準備を行います。

来場者は市内の方が半数、県内からが4割程。上青柳の風景のファンであるカメラマンの方やサイクリストの方々、また小さいお子さんのいるご家族連れ等が訪れます。

来場者は展示作品や参加型作品を楽しむ傍ら、学生や会場にお住いのおばあちゃんとの交流も生まれます。

第1期協力隊の全員が、当イベントをきっかけとして移住し、協力隊としても活動の一つとして企画運営に関わりました。



### 実施内容

【2018夏開催「丘の上、かやぶきの下」】

「丘の上」あぜ道を歩いて棚田を抜けた先の、坂道を登りたどり着く丘、「かやぶきの下」、84歳のおばあちゃんがお住いのかやぶき屋根の下。この環境を生かすことをテーマと設定し開催しました。丘の上にはダイナミックな竹のアスレチック等を開、茅葺き屋根の家ではマーケットコーナーやワークショップが行われ賑わいを見せました。



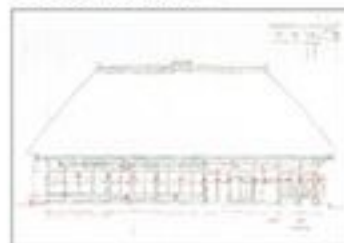
竹のアスレチック

【木崎邸実測学校】

2018年夏では、武蔵野美術大学建築学科OBによる「実測学校」を同時開催しました。アートサイトの舞台である茅葺き民家「木崎邸」を対象として、建築学生17名が講師の指導により建物を実測調査、25枚の野帳（手描きの図面）を描き起こしました。発表会には筑波大学の藤川教授や石岡市副市長等、様々な面々が集まる広がりある企画となりました。



実測学校発表会



制作された野帳

【アートサイト八郷2020冬開催】

木崎家は2020年で築150年を迎え、アートサイトもこの開催をもって開始から10周年となりました。様々な意味で節目となった当開催では、木崎家と向き合い、とことん見つめた展示を計画しました。

「木崎家おこし絵図」では来場者の方々と共に原寸大で木崎家の様子を描き起こし、大きなおこし絵を作成しました。

茅葺き屋根の家を内部まで含め間近に見られるなかなかない機会とあり、この家を見ることを目的とした来場者が例年に比べ多く訪れました。



木崎家おこし絵図

### 協力いただいた方々（敬称略）

木崎清彦 / 木崎文子 / 藤川昌樹 / 実測学校 / 武蔵野美術大学関係者の方々 / 茨城県フラワーパーク